

○井神議長 通告6番目、9番、松下 元議員、発言席から質問願います。

松下 元議員。

○松下議員 9番、松下 元です。議長の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

本日は、市長選挙への対応について、1番、市長選挙に対する考え方を市長にお伺いいたします。

私は、この時期、市民の皆様方が最も気にされているのは、9月25日告示、10月2日投票と、既に日程が決定している市長選挙に、現職である中芝市長がどう対応されようとしているのかを思っております。

選挙を間近に控える中、中芝市長が立候補されるのかということが、なかなか聞こえてこない状況が続いております。言い方が悪いようですが、しびれを切らした多くの市民の皆様方がみずから進んで自主的に、中芝市長に対して出馬要請を行っていると聞いております。

平成18年4月1日、市制施行を実現した岩出市、早いもので、ことしは10周年ものの年を迎えました。社会経済状況は、相変わらず先の見通しが立たない状況が続き、地方においては、地方創生という名のもと、それぞれの特性を生かして、自主性と自立性をもって持続可能な地域づくりを求められる時代となってまいりました。

中芝市長におかれましては、民間出身という経験を生かされ、就任以来、一貫して行財政改革と職員の意識改革に取り組み、財政の健全化を維持しつつ、岩出市長期総合計画に基づき、岩出市のまちづくりを着々と進められております。

聞くところによりますと、前回の選挙に立候補した方が立候補を表明されておりますが、我々有志岩出市議会議員といたしましては、中芝市長の実績、行政手腕等を考えますと、市制施行10周年を迎えた岩出市ではありますが、市にふさわしいまちづくりには、まだまだ中芝市長のリーダーシップによってまちづくりを進めていただくことが、最良の道であると考えております。

中芝市長の今回の市長選挙に対する考え方をお聞かせいただきたいと思っております。

○井神議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 松下議員のご質問にお答えをいたします。

ただいま今回の市長選挙に対する考え方ということでご質問をいただきました。また、私の市政運営について高い評価の言葉をいただき、まことに光栄であり、恐縮であります。

平成8年に町長に就任させていただき、5期、19年と11カ月が経過しました。今日まで、私なりに最大限の努力をしてまいったと自負しておりますが、これもひとえに市議会議員の皆様方初め市民の皆様方の温かいご支援とご協力があったからこそでございます。

さて、議員の質問にもございましたように、市町村を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。政府においては、デフレ脱却を目指して、アベノミクスを推進されているところですが、地方にはまだまだその恩恵は浸透しているとは言えず、消費税増税も先送りされているのが現状であります。

第3次安倍再改造内閣が発足し、少子高齢化、人口減少時代を乗り切るため、地方創生、一億総活躍という新しい概念のもと、地方は地方の特性を生かして、全ての人々がそれぞれの舞台上で活躍できる持続可能なまちづくりを進めていくという方向性が示されているところでありますが、東日本大震災、熊本地震、多発する集中豪雨など、これまでにない自然災害が発生するなど、あらゆる面で大きな転換期を迎えていると言っても過言ではありません。

また、価値観やライフスタイルの多様化により、行政需要も多様化してきており、これまで以上に行財政改革と職員の意識改革が必要になってまいりました。

議員ご指摘のとおり、各種団体、企業、組合など、各界各層の皆様方から出馬の要請をいただき、ご意見を伺ってまいりました。先ほど申し上げましたとおり、依然として厳しい財政運営を強いられる中、岩出市創生、自主自立の道を探っていかなければならないという本当に厳しい状況の中、市制施行10周年を迎えた岩出市において、将来に対する私に課せられた責務は何かを考え、悩んだ結果、市民の皆様方のご支援、ご協力をいただけるのであれば、次の4年間を再度市長として先頭に立たせていただき、岩出市発展のため全力を傾注する決意をしたところでございます。（拍手）

○井神議長 静粛に願います。拍手は禁止されております。

○中芝市長 皆様方の今後なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、松下議員の一般質問に対する答弁とさせていただきます。

○井神議長 再質問を許します。

○松下議員 終わります。

○井神議長 以上で、松下 元議員の一般質問を終わります。